



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内はロットNo.表示位置を示します。

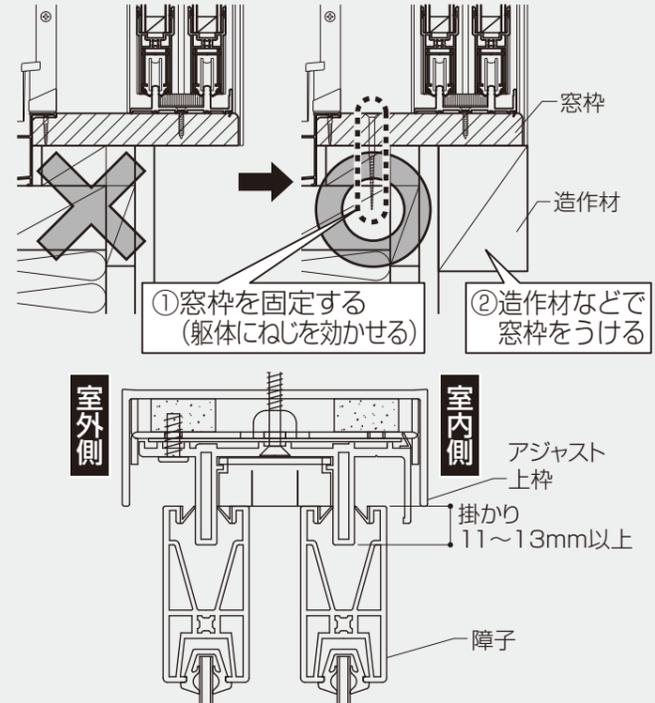
■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品の障子最大重量は障子1枚あたり約50kgになりますので、取付けは対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 取付け面の窓枠が製品重量にたえられることを確認してください。たえられない場合、右図のように窓枠の下を造作材などで補強してください。下枠が下がり障子が脱落するおそれがあります。
- 障子の建込み後、必ず建付け調整を行い、障子と上枠レールの掛かりを11~13mm以上確保してください。障子が脱落するおそれがあります。
- 障子H寸法が枠H寸法より2mm大きいことを、障子・枠の小口ラベルで確認してください。障子と枠レールの掛かりが確保できず、障子が脱落するおそれがあります。
- 補強裏板を本体上枠の指定位置に取付けてください。障子が脱落するおそれがあります。



■取付け上のおお願い

- 本説明書は、アジャスト上枠・本体の説明書です。本体に同梱されている説明書は参照不要です。
- 図面中の記号は使用するねじ・部品の種類を表します。「■使用部品一覧表」を参照の上ご使用ください。
- 必ず指定の取付けねじを使用してください。
- 枠は水系などを張って、曲がりのないように取付けてください。
- 窓枠強度不足防止のため、ねじで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。
- ソリや伸びを防止するため、直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。軽い傷がついてしまった場合は、市販のメラミンフォーム等の研磨剤で軽くこすると目立たなくなります。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締め過ぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

■使用部品一覧表

■本体枠同梱部品

本体枠取付け用ねじセット	
a	b
皿タッピンねじ φ3.5×20	コーキングワッシャー

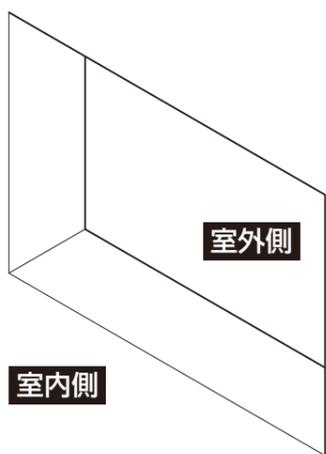
※ねじが余る場合は破棄してください。

■アジャスト枠同梱部品

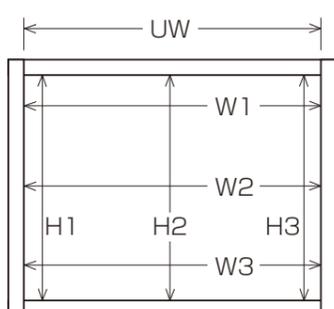
アジャスト上枠取付け用ねじセット			同梱部品
c	d	e	
皿木ねじ(上枠調整ねじ) φ3.8×38	トラスタッピンねじ φ4×20	薄平小ねじ M4×10	
			補強裏板

■取付け順序

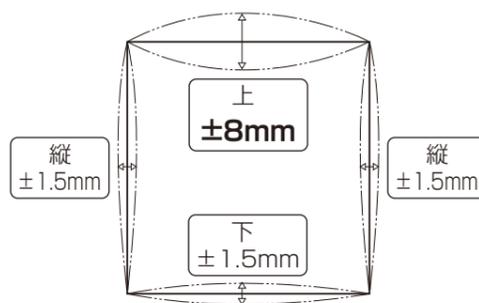
1 取付け開口部の確認



①取付ける開口部 H1 ~ H3 の寸法差が 9.5mm 以内、W1 ~ W3 の寸法差が 3mm 以内であることを確認してください。

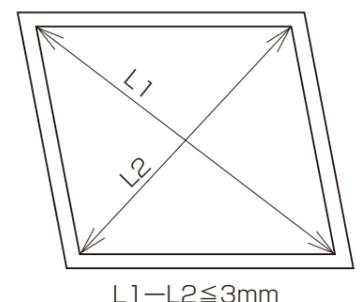


②取付ける開口部のそれぞれのたわみが、下図に示す量以内であることを確認してください。

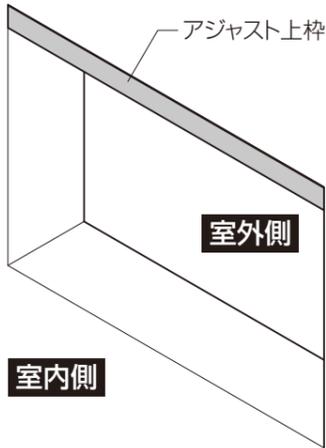


③取付け開口部の対角差が 3mm 以内であることを確認してください。

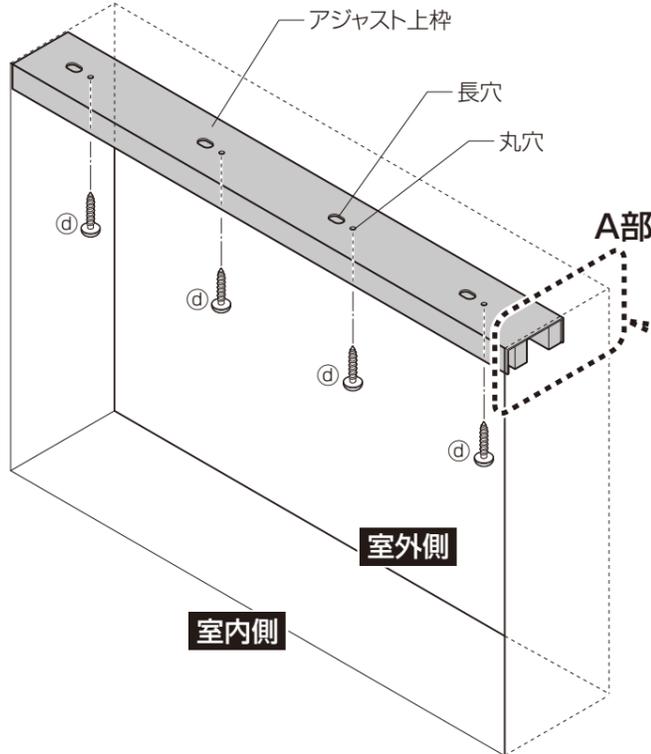
※開口部の寸法差やたわみが限度を超えている場合は、枠との間にライナーを敷いて調整してください。(その際発生した枠と開口のすき間は、コーキング材でふさいでください)



2 アジャスト上枠の取付け

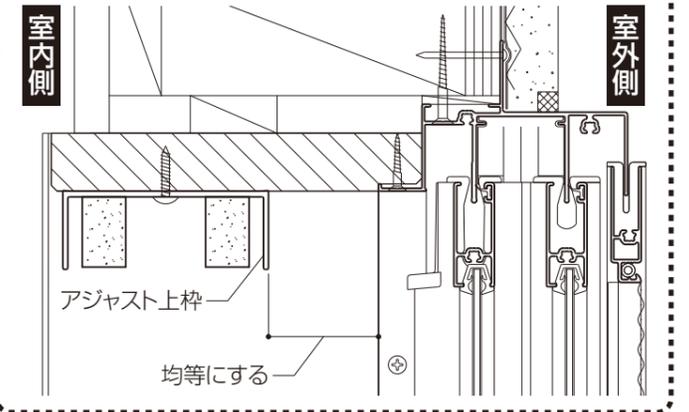


- ①開口部にアジャスト上枠を合わせてください。
※アジャスト上枠に室内外の向きはありません。
- ②丸穴にφ2のドリルにて下穴をあけてください。
※長穴には下穴は不要です。(下図参照)
- ③アジャスト上枠をねじ止めします。
※ねじ止めの際に、ねじを締め過ぎないようにしてください。アジャスト上枠が変形し、上枠がはめ込みにくくなります。

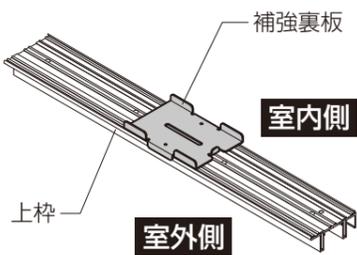


A部詳細図

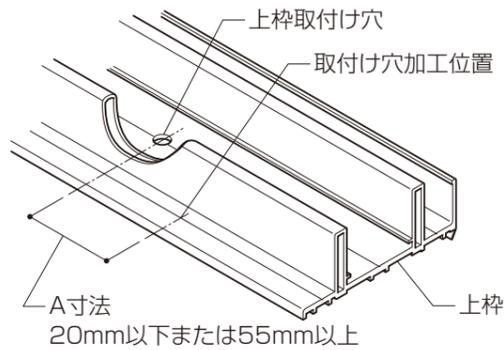
※アジャスト上枠の位置出しは下図のように外窓室内側から均等にしてください。



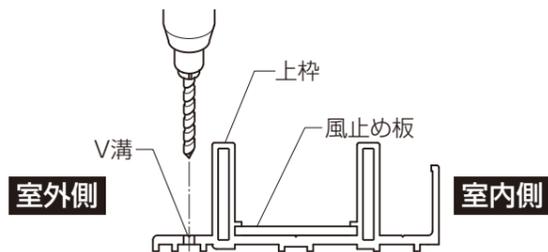
3 補強裏板の取付け



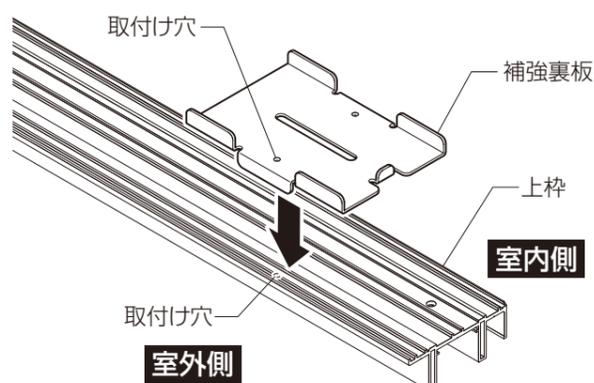
- ①上枠の取付け穴加工位置を右図で確認します。
- ②取付け穴加工位置と上枠取付け穴位置の距離(A寸法)が20mm以下または55mm以上であることを確認してください。
※A寸法が20mm~55mmの場合は、20mm以下になるように取付け穴加工位置を移動してください。



- ③確認した位置にφ4~5のドリルにて取付け穴をあけてください。



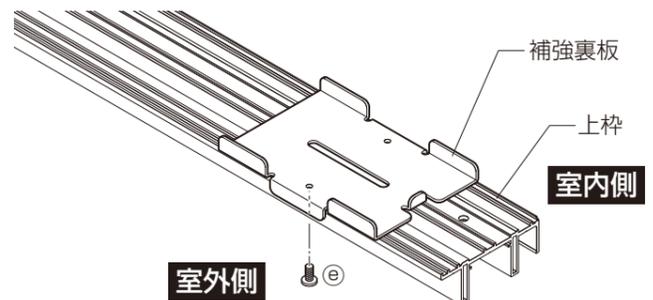
- ④補強裏板に張付けてある両面テープのリケイ紙をはがしてから、図のように補強裏板の取付け穴と上枠の取付け穴を合わせ、上枠に補強裏板を張付けます。(下図参照)
※補強裏板に室内外の向きはありません。そのため、補強裏板の取付け穴が2つあります。



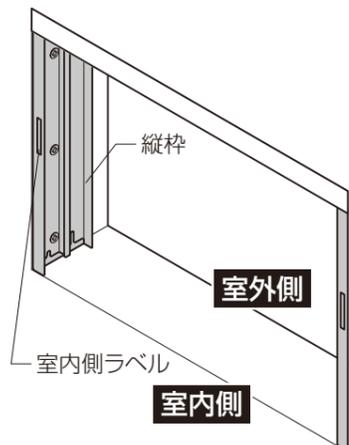
取付け穴加工位置

	上枠穴加工位置	加工穴数
2枚建 ・逆勝手 2枚建		1
3枚建 外・内・内		2
3枚建 内・内・外		2
3枚建 外・内・外		2
4枚建		3

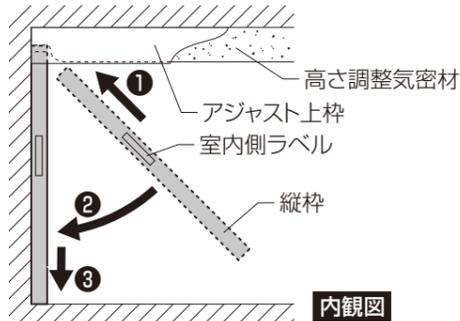
- ⑤補強裏板をねじ止めします。



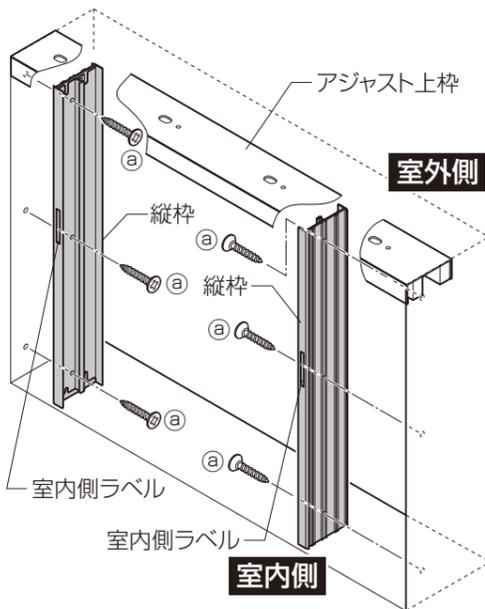
4 縦枠の取付け



- ①開口部に縦枠を合わせてください。その際、図のように①縦枠を上押ししてから、②開口部に合わせ、③縦枠の下部を開口に当ててください。



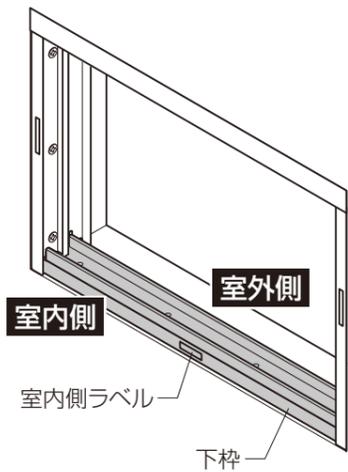
- ②取付け穴位置にφ2のドリルにて下穴をあけてください。
- ③縦枠をねじ止めします。



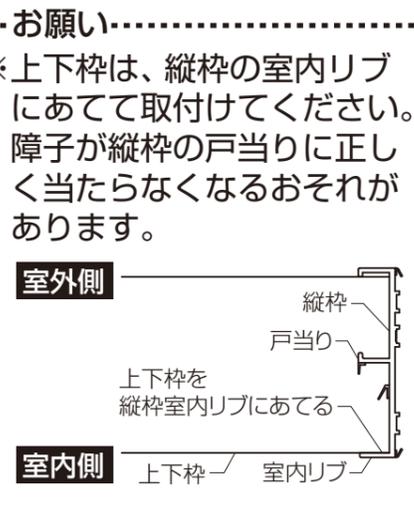
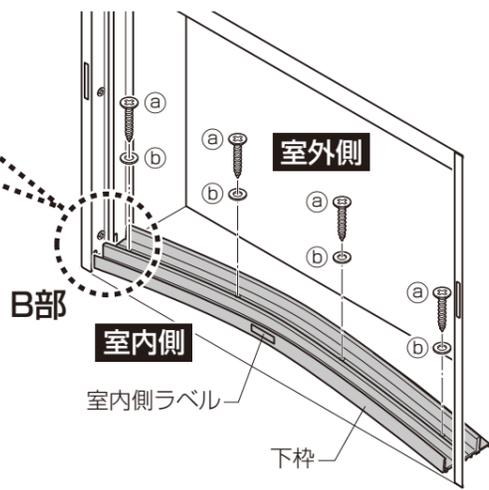
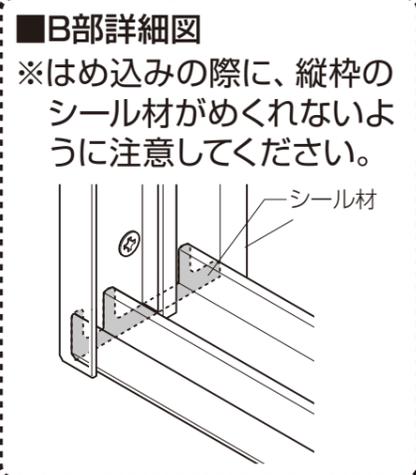
※縦枠の向きは縦枠に張ってあるラベルを参照してください。

2枚建 3枚建(外・内・内)	逆勝手2枚建 3枚建(内・内・外)	3枚建(外・内・外) 4枚建
ラベル	ラベル	ラベル
室内側	室内側	室内側

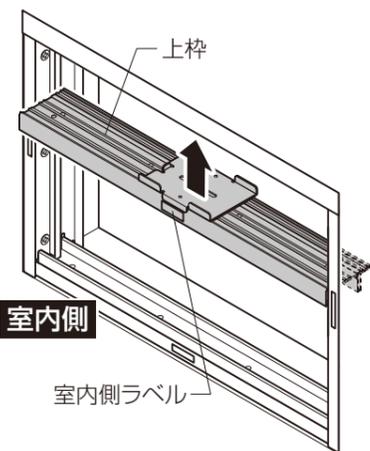
5 下枠の取付け



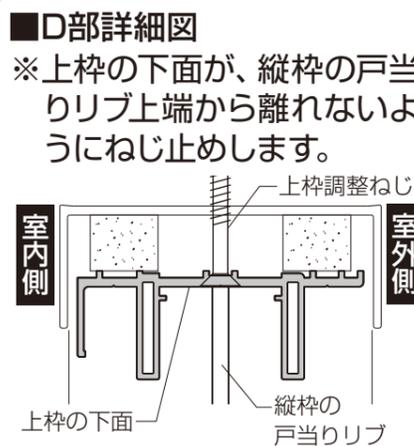
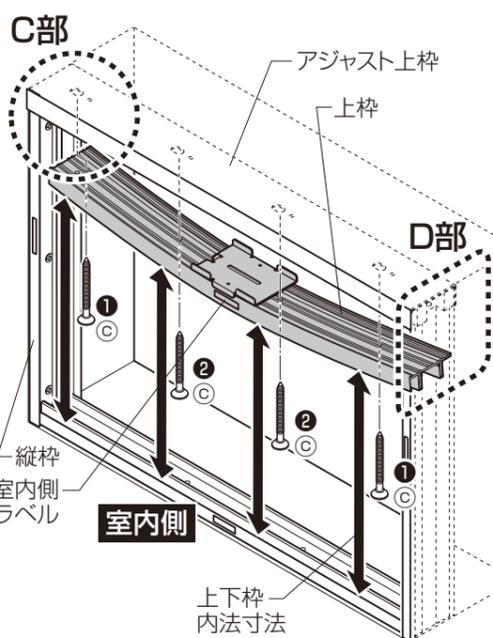
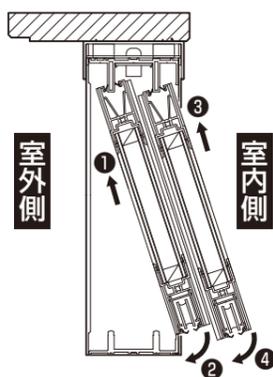
- ①下枠を図のように内側にたわませてはめ込みます。この時、室内側ラベルが室内側にくるようにしてください。
- ②取付け穴位置にφ2.0のドリルにて下穴をあけてください。
- ③枠取付けねじにコーキングワッシャーを通し、下枠をねじ止めします。



6 上枠の取付け



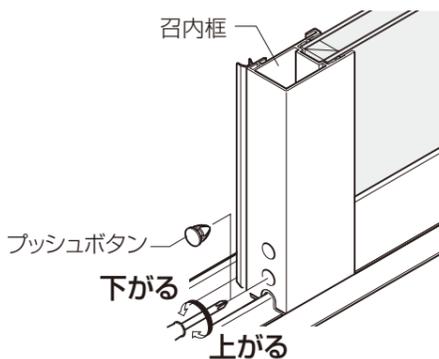
- ①上枠を図のようにたわませて、はめ込みます。この時、室内側ラベルが室内側にくるようにしてください。
 - ②取付け穴位置にφ2.0のドリルにて下穴をあけてください。※下穴は垂直にあけてください。上枠調整ねじが出っ張り、外れ止めが移動できなくなるおそれがあります。
 - ③上枠を上枠調整ねじでねじ止めします。※上枠調整ねじは上枠の高さを調整する機能をもっているため、締めたりゆるめたりして使用します。
- 【ねじ止め順序】
- ①両端：上枠の下面が、縦枠の戸当りリブ上端から離れないようにねじ止めします。
 - ②中央：ねじ止め個所の上下枠内法寸法を測定し、両端と均等になるように調整し、ねじ止めします。
 - ④障子を下図の手順で建込みます。



■建付け調整

調整 1 戸車調整

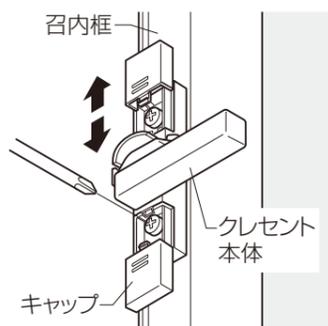
- プッシュボタンをいったん外して調整します。
(調整後はプッシュボタンを押し込んでください)



調整 2 クレセント調整

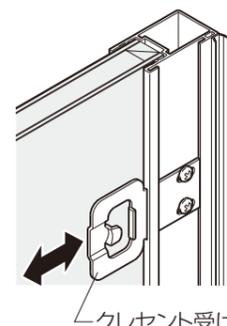
【上下方向の調整】(クレセント本体)

- ①キャップを外します。
 - ②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。
- ※調整後はしっかりねじを締めて、キャップをしてください。



【左右方向の調整】(クレセント受け)

プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。



お願い

クレセントがかかりにくくないか確認してください。

かかりにくい場合は、クレセント受けを上図のように左右方向に調整するか、クレセントとクレセント受けの高さを戸車調整またはクレセント調整で合わせてください。

かかりにくいまま使用すると、クレセントが動かなくなったり、破損したりするおそれがあります。

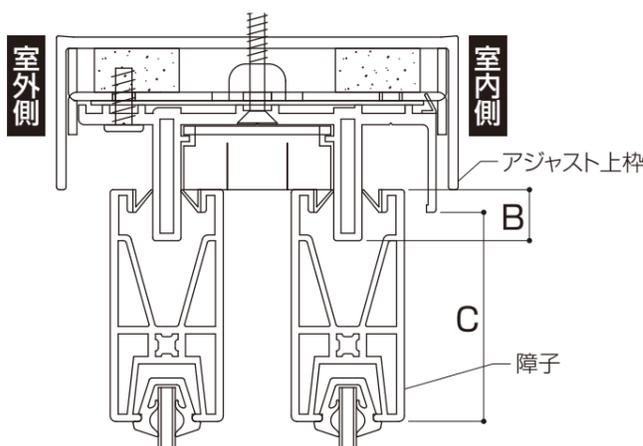
調整 3 掛かりの確認

- 召合せ部、合掌部の内障子の掛かりを B 部または C 部の寸法で確認してください。
掛かりが確保できていない場合は戸車を上げて調整してください。

■掛かり寸法表

(単位: mm)

	B 寸法	C 寸法
SG	11 ~ 13	33 ~ 35
PG		42 ~ 44



▲注意

- 障子の建込み後、必ず建付け調整を行い、障子と上枠レールの掛かりを 11 ~ 13mm 以上確保してください。障子が脱落するおそれがあります。

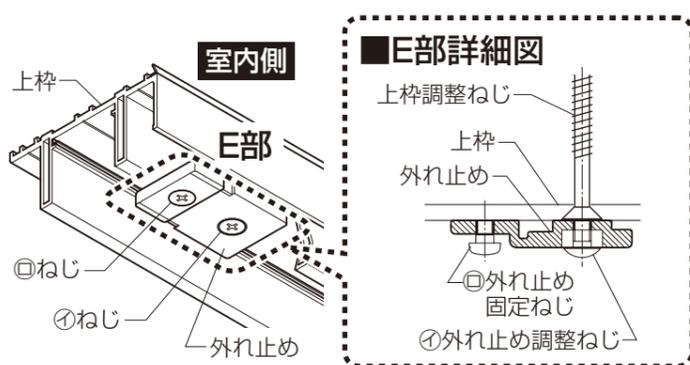
■外れ止めの固定

■外れ止めの固定

- 障子建込み後、障子を左右どちらかに移動し、下表・右図のように風止め板または合掌框の隣りにある上枠調整ねじの位置に㊸のねじで、外れ止めを固定します。

※㊸のねじは締め過ぎないでください。部品が外れる場合があります。

(2 枚建: 2 個、4 枚建: 4 個、3 枚建: 外内外 1 個、内内外・外内内 2 個)



■外れ止めの調整

- 外れ止め固定後、外れ止めのねじ㊹を締めて外れ止めを下げます。

※障子の開閉に支障のない高さまで下げてください。

※内障子を持ち上げて外れないことを確認してください。

※外れ止めの高さを調整する場合は、㊹のねじで調整してください。

※変則 2・3・4 枚建の時は障子を閉めた状態で外れ止めが機能します。

■障子の外し方

- 外れ止めの㊹と㊸のねじをゆるめて端に移動した後、障子を取外してください。

■外れ止め固定位置

○: 風止め板位置 △: 合掌框位置 ●: 外れ止め固定位置、上枠調整ねじ

2枚建・逆勝手2枚建	● ○ ●
3枚建(外・内・外)	○ ● ○
3枚建(内・内・外)	● △ ● ○
3枚建(外・内・内)	○ ● △ ●
4枚建	● ○ ● △ ● ○ ●